

昭和中学校の2年生を対象に土木未来（ときめき）教室を開催しました。今回は防災教育を目的としており、映像による説明のほか、防災VRや砂防模型を使用し、災害について学びました。また、身近な地域の土砂災害や水害などの被災リスクや避難所などを実際に見て周り、それを基にオリジナル防災マップを作成しました。

日時

・令和3年6月16日、25日

場所

・佐伯市立昭和中学校

内容

・防災教室

参加者

・昭和中学校2年生72名

災害を知る





身近な地域の危険箇所を知る



まち歩き

ハザードマップをつくる



マップづくり